

2021年7月9日

四国電力

社長 長井 啓介 様

伊方等の原発をなくす愛媛県民連絡会議

代表幹事 和田 宰

日本共産党愛媛県委員会

委員長 林 紀子

## 伊方原発の保安規定抵触問題、三菱不正問題などに関する申し入れ

7月2日に愛媛県と貴社が明らかにしたのは、2017年から2019年の間に繰り返された保安規定不適合事案でした。原発の運転期間中を含めて「配管接続班長」不在の時間があったという事態であり、住民の命と安全を無視した暴挙が繰り返されていました。もはや貴社は原発を運転する資格に欠けると言うほか無く、再稼働日程など破棄すべきです。

7月7日に開催された第19回原子力規制委員会が、貴社の保安規定抵触問題について触れないまま終了したことは、驚くべき機能喪失です。更田委員長が貴社に「福島を忘れたのか」と苦言を呈したと報じられましたが、これは貴社にあてはまるばかりか、規制委員会自身にもあてはまるものです。貴社の再稼働を認めてきた規制委員会の判断の信憑性を失わせるものです。

なお、三菱グループとの関係についても問います。三菱電機の資料ねつ造が問題になっていますが、三菱重工が建設した伊方原発の部材にこれらの部材が一切使われていないのかどうか、調査し明らかにすることを求めます。さらに、伊方の特重施設を施工したことを明らかにしている三菱重工が新型軽水炉のプランを三菱重工技報 Vol.57 に掲載しています。断じて原発の新設など許されるものではないことを申し入れます。

ついては、以下の3点を申し入れます。

- (1) 「配管接続班長」不在という保安規定逸脱のまま原発を運転した暴挙と、長期に是正されなかった事態は許されるものではなく、10月12日再稼働は白紙撤回すること。
- (2) 原子力規制委員会の機能喪失は明らかであり、これまでの設置許可申請への審査結果に信頼性はなく、伊方3号機は運転をとめたまま廃炉に向かわせること。
- (3) 三菱電機の資料ねつ造に関し、伊方原発に一切その関連部材はないのか、調査し明らかにすること。軽水炉の新規開発を公表している三菱重工との同連携は行わず、原発路線を断念すること。